

帯広市森林施業計画（第14次市有林施業概要）の概要

基本的な考え方

● 計画策定の趣旨

- ・森林の持つ生物多様性保全や土砂災害防止・土壌保全などの公益的機能と木材等の生産機能との両立を図るため、適正な森林整備と保全を行うことが求められています。
- ・計画的、効率的な森林施業を行うため、帯広市森林施業計画（第14次市有林施業概要）を策定するものです。

● 計画の位置づけ

- ・帯広市森林整備計画に示されている施業指針を基本とし、市有林の現状に合わせ、施業の方針と方法、事業量等を示す任意の計画です。

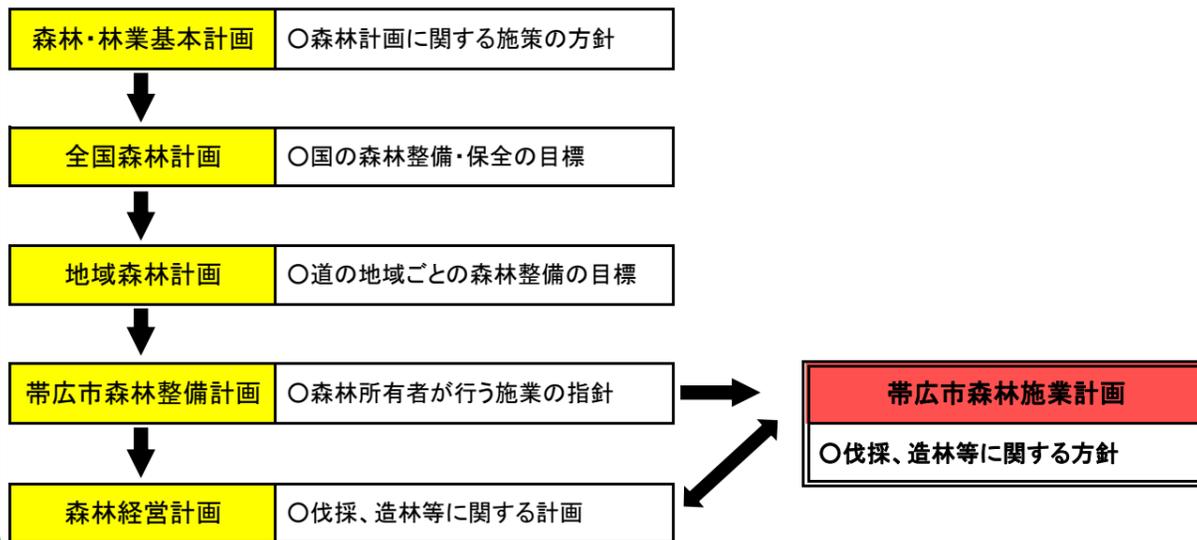
● 計画の期間

- ・令和3年3月に策定した現行計画の後継計画として、計画期間は令和8年度から令和12年度までの5年間とします。
- ・計画の開始は令和8年4月1日。

● 計画の主な変更内容

- ・令和3年の強風被害による森林被害への対応状況について記載します。
- ・地区ごとの市有林の施業方針を定め、森林の持つ多面的機能を効果的に維持するよう努めます。

森林計画制度における帯広市森林施業計画の位置づけ



帯広市森林施業計画策定までのスケジュール

令和7年 7月	市長から帯広市有林野管理経営審議会へ諮問
8月	帯広市有林野管理経営審議会
11月	帯広市有林野管理経営審議会
12月	帯広市有林野管理経営審議会委員長より市長へ答申
令和8年 3月	帯広市森林施業計画の決定
4月	帯広市森林施業計画施行

計画の枠組み

第1 帯広市有林を取り巻く情勢と施業方針について

1. 森林・林業を取り巻く情勢

- (1) 森林および林業の動向
- (2) 帯広市内の森林・林業の概況
- (3) 森林づくりの考え方

2. 帯広市有林の概要

- (1) 市有林施業概要の対象森林
- (2) 地区ごとの概要
- (3) 令和3（2021）年12月の強風被害への対応について

3. 帯広市の目指す森林の管理経営

4. 市有林の施業方針

- (1) 森林施業の長期方針
- (2) 地区ごとの方針
- (3) 更新樹種の選定
- (4) 伐採の基準とする林齢
- (5) 長伐期施業を実施する森林
- (6) 主伐に際しての留意事項
- (7) 伐採量および更新面積の決定
- (8) 長期の伐採立木材積および造林面積
- (9) 伐採に関する制限
- (10) 各施業種について
- (11) 主な保育作業の実施基準

5. 施業の基本事項

- (1) 公益的機能別施業森林
- (2) 公益的機能別施業森林以外の森林
- (3) 路網に関する事項
- (4) 林道橋の長寿命化について

第2 施業計画量について

1. 第13次施業計画達成調査
2. 施業計画比較表
3. 第14次施業計画事業量

主な変更内容

【森林・林業を取り巻く情勢】

- ・2050年カーボンニュートラルに向けた国の政策の動きを追記

【帯広市有林の概要】

- ・令和3年の強風被害による森林被害への対応状況について記述

【地区ごとの方針】

- ・森林の持つ多面的機能を効果的に維持するために地区ごとの施業方針を明記
 - ①帯広市内平野部
林帯の中央を天然林化するよう三層管理
 - ②帯広市内山岳部
木材生産（緩傾斜）、環境保全（急傾斜）
 - ③清水町羽帯
既存路網を活用し、皆伐・間伐を進める。
 - ④広尾町花春内
人工林の択伐により針広混交林へ誘導
- ※芽室町西伏見の分収造林は令和8年度契約終了予定。

【更新樹種の選定】

- ・炭素固定能の高いクリーンラーチ、カシワ等、植栽樹種の多様化を推進

【施業に関する基本事項】

- ・上位計画の改正に併せて、木材等生産林のうち、林地生産力が高く、傾斜が緩やかで林道等からの距離が近い森林を「特に効率的な施業が可能な森林」と位置づけ、原則、植栽により更新することを明記